

号外

全日本教職員組合 実習教員部

# 実教部NEWS



発行日 2022年11月11日

発行所/全教 (全日本教職員組合)

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1

TEL03-5211-0123/FAX03-5211-0124

編集発行人/実習教員部

号外(2025.9.19)の号外です!!



“アンケートをどうして取るの？ 編”

10-1. 以下の仕事について負担に感じますか？当ではまる項目を選択してください。  
1. 非常に感じる 2. 非常に感じない 3. 非常に感じたくない  
4. どちらとも感じない  
a. 教育運営  
b. 教育評議会  
c. 課題提出

10-2. 以下の仕事について当習教員が担当する必要があると思いますか？  
1. うう 2. んわい 3. どやうでわい  
a. 他の教員に任せるべきだ  
b. 自分でやるべきだ

みなさんご存じのとおり、全教実習教員部では2024年度から制度改革検討委員会を立ち上げ、内実化が進んだ今、現在の実状にあった「『実習助手』制度改革」を全国の仲間と一緒に考えてきました。

そんな中、2025年2月におこなった文部科学省要請行動で「**実習教員は教員と『=』ではなく『≠』**」ということもわかりました。

同時に文部科学省から

「実習『助手』」という職名により

“やりたくても出来ない仕事”

“やりたくないのにやらされる仕事”

についてエビデンスを整えて持ってくるように

という**『宿題』**が出されました。

全教実習教員部として、まず宿題を解決するため、みなさんが日頃どのような仕事をしているのか、その仕事に対してどのような気持ちを抱いているのかをアンケートで聞くことにしました。

このアンケートを考えているときに文部科学省から出てきたのが

令和7年8月19日 教師を取り巻く環境整備特別部会（第2回）資料 1-2

「学校と教師の業務の3分類」の指針への位置付け（案）

アンケートの最後にアドレスを添付しています。

なんです。

これは**教諭（教師）**が学校でおこなっている業務を3分類に分け、働き方改革をすすめるため「業務の仕分け」をするための指針です。

わたしたち実習教員もこれらの仕事をおこなっています。この3分類に沿ってアンケートを取ることによって、実習教員も**教諭（教師）**と同じ仕事をおこなっているというエビデンス、そこに“やりたくても出来ない”や“やりたくないのにやらされる”といった項目をつけることによって**『宿題』**に対してのエビデンスを集めるために、アンケートをとることになったのです!!

私たちを取り巻く教育行政が目まぐるしく変化していく中、ゆっくりとみなさんから意見を集める時間は正直言ってありません。限られた時間ではありますが、周りの実習教員の方々に声をかけていただき、たくさんの方々の声を集めたいと考えています。ご協力、よろしくお願いします。



<https://forms.gle/ozFbRw8tka18L5mr9>

